

平成 29 年度 日吉台学区自治連合会通常総会

日時：平成 29 年 4 月 16 日（日曜日）午前 10 時より

場所：日吉台市民センター 大会議室

議題

議案第 1 号	平成 28 年度日吉台学区自治連合会活動報告	P. 2
議案第 2 号	平成 28 年度日吉台学区自治連合会収支決算報告及び監査報告	P. 7
議案第 3 号	平成 29 年度日吉台学区自治連合会役員等の選任案	P. 14
議案第 4 号	平成 29 年度日吉台学区自治連合会活動方針案	P. 15
議案第 5 号	平成 29 年度日吉台学区自治連合会予算案	P. 18
議案第 6 号	日吉台コミュニティ基金管理委員会関係議案	P. 20

※議案 2 号終了後、地域功労者の表彰を行います。(P. 6)

日吉台学区自治連合会会員の皆様

日吉台学区自治連合会会長
野々口義信

平成 29 年度日吉台学区自治連合会通常総会開催のお知らせ

平素より自治連合会の活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本年度も上記の要領にて「平成 29 年度日吉台学区自治連合会通常総会」を開催いたします。会員の皆様におかれましては、別にお渡しする「平成 29 年度日吉台学区自治連合会通常総会 出欠回答書」に必要事項をご記入の上、期日までに組長さんまで、ご提出いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

総会に出席される方は必ずこの資料をご持参ください

議案第 1 号 平成 28 年度日吉台学区自治連合会活動報告

平成 28 年度学区自治連合会は、「子どもたちの歓声があふれ 和やかに 健やかに 住み続けたいまち 日吉台」をまちづくりの目標に、スタート、活動してまいりました。28 年度当初の活動方針でも述べましたが、日吉台のまちづくりを取り巻く環境の厳しさは、この 1 年でさらに拍車がかかりました。園児数減少から近隣幼稚園との統合化案が浮上していました市立日吉台幼稚園の問題では、市は、懸案だった 3 年保育実施と抱き合わせる形で、園児数が適正規模に達しない場合の統合化検討案を示し「アメと鞭」で日吉台住民に決断を迫ってきました。学区自治連と同まちづくり協議会は、幼稚園関係者、父母らとこの事態打開策の協議を重ね、日吉台幼稚園を認定こども園に転換、幼稚園機能と保育園機能を併せ持つこども園新設で学区内に幼児教育施設を存続させることに舵を切り、市への要望運動を進めることにしました。市の「市立幼稚園規模適正化実施計画案」では、日吉台幼稚園の今後については「民間による認定こども園設置を検討する」と記しています。学区自治連では、この方針に基づき年末の 26 日に大津市役所で越直美市長に面会し「日吉台幼稚園を認定こども園へ転換する」要望書を提出しました。市はこの要請に対し、前向きな姿勢を示し新年早々には、事実上認定こども園設置を認める「開設にむけてのスケジュール」を地元を示してまいりました。市の説明によると現日吉台幼稚園の敷地に民間による認定こども園を開設、公募により設置事業者を選定、最速で 31 年 4 月の開園を見込んでいます。

続いて日吉台小学校でも将来のあり方に関する問題も浮上しました。市は昨年 10 月、市立小中学校規模適正化ビジョンの地域別適正化ビジョンを公表しましたが、全校でクラス替えができない小規模校として、「規模適正化」の検討に入る学校として日吉台小学校の名を挙げてきました。市教委では「ただちに統合にはならない」と説明していますが、市教委の示す規模適正化の児童数の推移をみると、将来日吉台小の統合議論は避けられません。学区自治連では、この事実をただちに住民に公表するとともに、学区自治連に特別委員会「学区教育問題を考える会」（仮称）を設置しました。この特別委では、日吉台小を将来にわたって統合へと進ませない学校づくりの方策を検討するほか、認定こども園設置にむけ予想されるさまざまな幼児教育の諸課題についても議論を行います。

安全、安心のまちづくりについて報告を行います。日吉台学区では、市内で 2 番目の高齢化社会であり、認知症高齢者などの行方不明者を検索する「SOS ネットワーク」を構築しました。新年度で検索体制をスタートさせますが、このネットワークは、学区内の諸団体の実務者で組織する「学区各種団体連絡協議会検討委員会」が 1 年がかりで検討、作り上げたものです。学区内で徘徊行方不明者が出た場合、家人が学区内の団体に検索の通報をしていただくと「学区自治連合会会長」に連絡が入り、学区自治連合会会長は、携帯メールで学区内諸団体に検索発動。各団体は団体ごとの連絡網で会員に検索情報を流し検索活動に入る仕組みです。この SOS ネットワークは、学区内に発生した緊急事案の連絡体制にも大きな威力を発揮してくれるものと期待しています。また、27 年度から学区内に防犯カメラの設置整備も進めてまいりました。27 年度は、県警本部貸与のカメラ 2 基を学区内に設置、運用が始まっていますが、28 年度は県警貸与分 1 基、市の補助を受けコミュニティ基金で購入したカメラ 3 基、計 4 基を設置しました。これで学区内では、計 6 基のカメラが運用していることになり、6 基のカメラは、学区内の出入道路すべてをカバーすることになり、学区内の防犯活動や行方不明者検索などに役立つこととなります。

「住み続けたいまち日吉台」づくりを目指し、まちづくりの視点から「空き家対策」の取り組みを本格化しました。学区自治連のまちづくり協議会が、空き家対策事業部を発足させて学区自治連役員会で問題を提起、学区自治連ではこの問題提起を受け、7 月に特別委員会「空き家対策委員会」を組織、活動を始めました。県内最初の大規模開発された日吉台の住宅地ですが、経年

経過で住民が高齢化、子ども世代の流出で空き家が増え、対策が急務になっていました。学区自治連では、ただ単に空き家を埋めるだけではなく、まちづくりの一環として捉え、対策、取り組みを検討してまいりました。市内で多数の倒壊危険の恐れがある空き家を抱える大津市も空き家対策の取り組みを始めており、同市は「空き家の利活用策」を探るとして日吉台を空き家対策のモデル地域に指定、コンサルタント業者に委託、学区自治連と共同で日吉台学区の空き家の実態調査、利活用策の検討調査を行いました。調査の結果、学区内には115戸の空き家があることが確認されたほか、空き家所有者の意向などが判明、今後の取り組みに参考になる資料が得られました。学区自治連では、これまでの取り組みを検証しながら得られたデータをもとに、まちづくりを視点に捉えた空き家対策の取り組みを進める決意であります。

日吉台住宅地を循環する江若バス。住民の足でも不安をなげかけています。昨年9月、江若交通から学区自治連に最終便の減便通知がありました。高齢化と乗客減で、バスの合理化が予想されるなかこの5月、学区自治連では「バスに乗ろうキャンペーン」をはじめていました。このキャンペーン開始の最中の減便通告。今後も乗客離れが続くようならばさらなる合理化案が示される恐れがあるとして、バスに乗ろう運動をさらに強化させることにしたものです。具体策として日吉台小の子どもたちから「バスに乗ろう」の標語を募集、入選作の表彰を行ったうえ、標語を書いたのぼりを製作、バス沿線に掲示してPRに努めました。今後もまちづくり協議会を中心に有効なキャンペーン策を考え、住民の足の確保に力を入れることにします。

1. 住民相互のコミュニケーションと親睦を深める行事

本年度の行事は皆様のご協力、ご支援により、以下の通り成功裡に終了いたしました。

1) 琵琶湖市民清掃 6月26日(日)

主管 環境衛生部会

参加人数 799名(うち小学生32名、中高生2名)、ごみ収集量は609袋でした。本年度より、回収と廃棄処理は市が全面的に行うこととなり、これまでのような収集に伴う業者への手配など、役員の負担が少なくなりました。住民の皆様方に怪我もなく無事に終えることができました。11月13日(日)の秋の一斉清掃も、今年は天候にも恵まれ、各丁とも多数参加していただきました。今後とも一斉清掃活動は継続し、清潔な街づくりを目指してまいります。

2) 第18回 日吉台夏まつり 7月30日(土)

主管 夏まつり実行委員会

一昨年、昨年に続き三日月知事と越市長の訪問が有り、盛況のうちに終えることができました。実行委員をはじめ関係者の方々のご協力に感謝します。

3) 第51回 大津市民体育大会

主管 大津市体育団体連絡協議会

9月4日(日)、11日(日)の両日で開催されました。今年度は大運動会の部とバドミントン、ソフトボールに参加しました。

4) 福祉まつり 9月11日(日)

主管 日吉台学区社会福祉協議会

最高齢102歳の方を含む107名が参加しました。越大津市長や桐畑市社会福祉協議会会長らも出席し、長寿をお祝いしました。アトラクション、模擬店などを催し、高齢者と地域住民の親睦を深めていただきました。

5) 第32回 日吉台学区民大運動会 10月9日(日)

主管 運動会実行委員会 (日吉台学区体育振興会)

今年は自治会員減少の為、予算大幅減額ではありましたが、実行委員の皆様と協賛団体のご協力により盛大に開催することができました。高齢化を見据え種目などを見直しつつ青空の下、汗を流しました。

優勝：四丁目東自治会 準優勝：一丁目南自治会

6) 第 32 回 日吉台学区文化祭 10 月 21 日 (金) ~23 日 (日) 主管 文化祭実行委員会
10 月 21 日~23 日までの 3 日間開催し、来館者数 1,200 名、出演・出品者 300 名の参加となりました。実行委員および公民館利用団体の皆様有難うございました。

7) 日吉台学区各種団体連絡協議会会長会 3 月 2 1 日 (火) 日吉台学区各種団体連絡協議会
「日吉台 S O S ネットワーク」構築に向けて、7 回にわたる「各種団体連絡協議会・検討委員会」での協議結果を踏まえた構築内容の報告、並びに平成 2 8 年度自治連合会活動報告及び平成 2 9 年度活動計画について報告しました。

2. 自主防災会の活動

学区自主防災会では各丁防災組織と連携し、学区内全体での防災訓練実施、防災講演会の開催等を通じ、防災意識の向上に努めてきました。安否確認を迅速にと、玄関先にタオル掛けした丁もありました。L P G 発電機を加え、2 台の発電機を備えました。

3. 自主防犯推進会の活動

自主防犯推進会では、「不審者を寄せ付けない安全・安心な街づくり」をめざし、パトロールや子ども達の見守り、防犯教室などの啓発活動、防犯カメラ設置拡大など、幅広い活動を実施しました。

4. 学区要望

学区自治連合会として要望事項を大津市ほかに提出しました。主なものは下記のとおりです。

- 学校トイレの洋式化改修について (自治連要望)
- 老人健康広場の樹木剪定について
- 歩道樹木の根による段差解消について
- 街路樹の定期的な剪定について
- 湖西道路への防音壁の設置について
- 市街灯の設置について

5. 住民の自治会加入推進

各自治会では未加入者への加入の声掛け等により会員の増加に努めております。また、新規入居者には支所にて自治会加入の説明と案内チラシをお渡ししております。

6. 定例役員会 議事録回覧

定例役員会における会議内容の概要と各種団体の予定等を議事録として回覧し、ホームページに掲載しております。

7. 日吉台コミュニティ基金

委員会報告参照。

8. 資源回収

金田商事さんのご協力で毎週木曜日の回収が定着、大津市よりの補助金と業者よりかなりの額の回収代金が還元されています。この事業による還元金を丁毎に有効利用していただきたく、今後とも継続していきたいと考えております。ご協力のほどお願いいたします。

9. 特別委員会

1) まちづくり協議会

昨年度でまちづくり推進委員会は廃止し、今年度は従来の日吉台新聞事業部、子育て応援隊事業部に加えて、空き屋対策事業部、マルシェ事業部、花と緑のまちづくり事業部を発足し、また「江若バス利用促進キャンペーン」に取り組んでいます。空き屋対策事業部は、自治連の空き屋対策委員会と協力し、対策を検討しています。マルシェ事業部は、毎月一回の定期市を開催しています。花と緑のまちづくり事業部は、関連団体と協力して景観整備を進める予定です。

2) 日吉台学区各種団体連絡協議会検討委員会

毎月1回程度(7回開催)、「日吉台SOSネットワーク」の構築について協議し、3月21日開催の連絡協議会会長会でこれまでの検討結果について報告を行いました。

3) 空き家対策検討委員会

市が平成28年度に日吉台を空き家対策モデル地域に指定して空き家の利活用を進めるため、コンサルに委託して空き家調査が実施されましたが、空き家対策検討委員会としては日吉台の再生に向けたまちづくりの一環としてとらえ、日吉台の活性化と所有者の意向が反映される取り組みとなるよう市と協議していくこととしています。

4) 教育問題を考える会(仮称)

日吉台では園児が減少する中で、日吉台幼稚園を民間による認定こども園に転換することが確実となり、また市の小中学校規模適正化の対象校として日吉台小学校の名前が挙がっています。学区として念願していた認定こども園の開設に向け、或いは日吉台小学校を統合させないための方策について、教育関係者、保護者、公募委員などで構成する「教育問題を考える会(仮称)」を本年3月9日に発足し、諸課題の解決に向けて取り組むこととなりました。

10. 地域功労者 (敬称略、順不同、かっこ内は推薦団体)

岡田 健 (一丁目北自治会)、黒井 志穂 (三丁目西自治会)、
田島 久義 (自主防犯推進会)、西山 勝治 (社会福祉協議会)
土屋 和子 (民生委員児童委員協議会)、六浦 抄江 (青少年育成学区民会議)
高石 正明 (老人クラブ連合会)

11. 山王祭関係

日吉大社・山王祭関係神事

平成 29 年度 地域功労者表彰

(敬称略、順不動)

氏 名 (推薦団体)	活 動 分 野	功 績 概 要
おかだ けん 岡田 健 (一丁目北自治会)	防犯 等	昭和 5 6 年に日吉台に入居以来、長年にわたり消防活動に従事し、日吉台消防分団長として消防防災活動に努めたほか、現在も防犯活動や日吉台小学校児童の登下校時の見守りなどのほか、自治会での各種活動においても積極的に活躍されている。
くろい しほ 黒井 志穂 (三丁目西自治会)	その 他(子 育て 応援)	日吉台在住 1 4 年となるが、幼児・児童教育の必要性を痛感し、まちづくり協議会子育て応援隊のリーダーとして、小学校での「マナビバ」や幼稚園の「アソビバ」を通じた多様な取り組みのほか、日吉台幼稚園の園児減少による統廃合を見越して、保護者の意向を反映した認定子ども園の実現に大きな存在感を示されている。
たじま ひさよし 田島 久義 (自主防犯推進会)	防犯	平成 1 7 年度の日吉台自主防犯推進会の設立当初から 1 2 年間にわたり、毎月の夜間パトロールや小学校児童の登下校時に犬の散歩での毎日の見守り、小学校校舎周辺の樹木の剪定作業など、地域の安全活動に積極的に参加し、安全で安心できるまちづくりのため日々活躍されている。
にしやま かつじ 西山 勝治 (社会福祉協議会)	福祉	平成 2 3 年から社協運営委員として多様な活動に参画するとともに、平成 2 5 年からは社協の「日吉台ささえあいの会」幹事として、活動の中心的メンバーとなって、住民からの様々な依頼に対して全力で取り組まれている。
つちや かずこ 土屋 和子 (民生委員児童委員協議会)	福祉	平成 1 9 年 1 2 月に民児協副会長に就任以来、4 期目となる現在も独居高齢者はもとより、子育て家庭等の相談・見守り活動に熱心に取り組むほか、学区社協の運営委員として、住民ふれあいの場としてのふれあいサロンやすこやかサロン等にも積極的に取り組まれている。
むつうら さえ 六浦 抄江 (青少年成学区民会議)	青少 年育 成	平成 1 3 年度から学区民会議事務局長として、平成 1 7 年度からは事務局員として、「花のまちづくり」「かるた大会」「愛のパトロール」「あいさつ運動」等に取り組むほか、夢未来事業推進委員会と連携した「もちつき大会」「どんと焼きまつり」「ラジオ体操」の各種事業にも積極的に活躍されている。
たかいし まさあき 高石 正明 (老人クラブ連合会)	福祉	平成 2 4 年 4 月の日吉台げんきクラブ発足以来、班長・会計長・事務局長を歴任し、現在も老人クラブ連合会理事として、自ら先頭に立って高齢者の健康増進に寄与する各種活動に積極的に活躍されている。

議案第 2 号 平成 28 年度日吉台学区自治連合会収支決算報告及び監査報告

平成28年度 自治連合会収支決算

【収支報告】

収 入	3,391,040円	(募金、寄付金1,034,060円を除く)
支 出	2,646,223円	(募金、寄付金1,034,060円を除く)
差引残高	744,817円	

【収入の部】

(単位:円)

項 目	28年度予算	28年度決算	備 考	
前年度繰越金	766,418	766,418		
各自治会からの分担金	2,294,000	2,286,000	2,000円/世帯×1143世帯	
大津市報奨金	131,760	131,760		
助成金	琵琶湖を美しくする運動 実践本部活動助成金	65,000	17,547	琵琶湖を美しくする運動、業者回収 →大津市回収へ変更の為、助成金 減額
	大津市防犯協会助成金	30,000	30,000	「子ども110番のおうち」電灯料
	防犯カメラ設置助成金	—	153,000	コミュニティ基金助成金
雑収入	6,000	6,315	日赤社資、預金利息ほか	
合 計	3,293,178	3,391,040		

(1,147世帯で算定) (1,143世帯で確定)(28年/4月)

(注)防犯カメラ設置に係る大津市補助金153,000円は、4月上旬入金予定

【分担金及び募金・寄付金納付実績】

募金・寄付金内訳:山王祭賛助金・赤い羽根共同募金・日赤社資・歳末助け合い募金・緑の募金 (単位:円)

自治会名	世帯数	分担金	募金・寄付金
1丁目南自治会	107	214,000	121,980
1丁目北自治会	157	314,000	178,980
2丁目南自治会	93	186,000	71,980
2丁目北自治会	171	342,000	194,940
3丁目東自治会	189	378,000	131,630
3丁目西自治会	163	326,000	114,250
4丁目東自治会	124	248,000	135,780
4丁目西自治会	139	278,000	84,520
合 計	1,143	2,286,000	1,034,060

【支出の部】

(単位:円)

項 目		28年度予算	28年度決算	備 考
事業費	環境衛生部	70,000	27,163	収支報告書参照
	まちづくり協議会	65,000	43,280	日吉台新聞代(33,003円) マナビバ経費補助
	自治連ホームページ運営	20,000	18,588	サーバー使用料
	夏まつり	248,000	186,300	収支報告書参照
	市民体育大会	90,000	80,446	収支報告書参照
	福祉まつり	176,000	176,000	収支報告書参照
	学区民大運動会	192,000	170,884	別途協賛金168,000円 収支報告書参照
	文化祭	64,000	63,901	収支報告書参照
	防犯カメラ設置費	—	306,309	防犯カメラ3基設置経費
	事業費小計		925,000	1,072,871
各種団体助成費等		1,201,733	1,183,018	支払い明細参照
		30,000	30,000	子供110番のおうち電灯料(自主防犯推進会へ)
事務経費等	渉外費	150,000	222,119	各種団体会費・研修会費
	事務費	85,000	79,311	印刷用紙代・コピー代等
	会議費	10,000	0	
	旅費・交通費	60,000	49,960	会議・集会等参加の交通費
	功労者表彰費	40,000	0	
	雑費	15,000	8,944	防犯カメラ既存3基分電気代等
事務経費等小計		360,000	360,334	
予 備 費		776,445		
合 計		3,293,178	2,646,223	
次 年 度 繰 越 金			744,817	
総 計		3,293,178	3,391,040	

会計監査報告書

平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の諸会計について監査を行い、普通預金通帳、諸帳簿、諸伝票及び収支は正確であることを確認いたしました。

平成29年3月30日

監事

大津市日吉台2丁目10-7

近藤佳嗣 

大津市日吉台4丁目4-9

市川泰伸 

【各種団体助成金支払い明細】

(単位:円)

団体名	予算	決算	備考(助成金決定根拠)
体育振興会	263,810	263,810	230円×1,147世帯
消防分団	275,280	275,280	240円×1,147世帯
社会福祉協議会	114,700	114,700	100円×1,147世帯
青少年育成学区民会議	75,702	75,702	66円×1,147世帯
日吉台学区自主防災会	75,702	75,702	66円×1,147世帯
子ども会連絡協議会	240,870	240,870	210円×1,147世帯
老人クラブ連合会	40,145	40,145	35円×1,147世帯
日吉台自主防犯推進会	59,644	59,644	52円×1,147世帯
少年補導員 子ども安全リーダー	22,940	22,940	20円×1,147世帯
人権・生涯学習推進協議会	22,940	4,225	20円×1,147世帯
健康推進連絡協議会	10,000	10,000	定 額
合 計	1,201,733	1,183,018	

【募金・寄付金内訳】

(単位:円)

山王祭賛助金	475,000	山王祭実行委員会へ振り込み
赤い羽根共同募金	329,080	大津市共同募金委員会へ振り込み
日赤社資	114,400	日本赤十字社大津市地区へ振り込み
歳末助け合い募金	89,600	日吉台学区社会福祉協議会へ支払い
緑の募金	25,980	滋賀県緑化推進会へ振り込み
	1,034,060	

【再生資源回収実績】

(単位:円)

区 分	大津市からの 補助金	金田商事からの 支払い分	備 考
2016年1月～6月	256,596	46,340	2016年10月 各自治会に分配
2016年7月～12月	245,908	48,030	2017年 3月 各自治会に分配
合 計	596,874		

平成28年度 環境衛生部 決算書

【収入の部】

(単位:円)

項 目	決 算	備 考
大津市助成金	17,547	琵琶湖市民清掃助成金
合 計	17,547	

【支出の部】

(単位:円)

項 目	決 算	備 考
消耗品費	17,547	琵琶湖一斉清掃関係(ゴミ袋購入費)等
消耗品費	9,616	秋の一斉清掃関係(ゴミ袋購入費)等
合 計	27,163	

平成28年度 まちづくり協議会 決算書

【収入の部】

(単位:円)

自治連より事業費	65,000	
----------	--------	--

【支出の部】

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
活動費	10,277	夏休みマナビバ経費補助として、子育て応援隊へ
事務費	33,003	日吉台新聞印刷費、用紙代
交通費	-	
自治連合会へ返金	21,720	
合 計	65,000	

第69回 日吉台学区文化祭 決算書

開催日 平成28年10月21日(金)~23日(日)

【収入の部】

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
事業費	64,000	日吉台学区自治連合会より
補助金	46,000	大津市より(補助対象経費93,000円の1/2)
雑収入	1	預金利息
合 計	110,001	

【支出の部】

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
報償費	20,000	体験講座開設謝礼・プラスバンド
会場設営費	13,793	看板作製、スタンドミラー他
消耗品費	11,320	用紙代、布テープ他
印刷製本費	4,800	プログラム、ポスター、チラシ
通信運搬費	27,000	楽器運搬
食料費	10,000	弁当代(補助対象経費)
食料費	4,899	菓子代(補助対象外経費)
保険料	11,090	行事保険料、施設所有者賠償責任保険
協賛金	7,000	大津市文化祭協賛金
自治連合会へ返金	99	
合 計	110,001	

平成28年度 大津市民体育大会 決算書

開催日 平成28年9月4日(日)・11日(日)

【収入の部】

(単位:円)

自治連合会事業費	90,000	
----------	--------	--

【支出の部】

部 門	項 目	金 額	備 考
運動会の部	交通費	1,600	800円×2人
	レンタルバス代	25,920	
	レンタル軽トラック代	10,800	
	ガソリン代	450	
	昼食代(45名)	22,500	
	飲料・氷代	2,019	
	小 計	63,289	参加人数45名
バトミントンの部	交通費	800	800円×1人
	昼食代(7名)	3,500	
	小 計	4,300	参加人数7名
ソフトボールの部	交通費	3,200	800円×4人
	照明代	210	9/3夜間練習グラウンド使用
	昼食代(20名)	9,447	
	小 計	12,857	参加人数20名
	支出合計	80,446	
	自治連へ返金	9,554	

平成28年度 第32回 日吉台学区民大運動会 決算書

開催日 平成28年10月9日(日)

【収入の部】

(単位:円)

項 目	予 算	決 算	備 考
自治連合会事業費	192,000	192,000	
協賛金	137,000	168,000	3,000円×36口=108,000円 5,000円×10口=50,000円 10,000円×1口=10,000円
合 計	329,000	360,000	

【支出の部】

(単位:円)

項 目	予 算	決 算	備 考
賞品代	204,000	173,740	賞品・○×クイズ等
抽選会景品代	14,000	8,700	景品
協賛者への御礼	19,000	19,000	タオル(380円×50個)
プログラム用紙等	31,000	47,173	プログラム用紙・印刷代・賞状用紙等
食料費・接待費	20,000	12,492	来賓・消防分団の弁当・お茶等
通信・運搬費	20,000	19,321	郵送料・レンタカー・ガソリン代
用具・備品	20,000	55,458	ラグビーB4個・デカぱん10枚等
褒償費	-	3,000	戸井嵩裕氏表彰(スポーツ振興)
使用料	1,000	0	運動会夜間練習照明代
小 計	329,000	338,884	
自治連合会へ返金		21,116	
合 計	329,000	360,000	

平成28年度 日吉台夏まつり 決算書

開催日 平成28年7月30日(土)

【収入の部】

(単位:円)

項目	予算	決算	摘要
自治連合会事業費	248,000	248,000	
雑収入	0	0	預金利息
合計	248,000	248,000	

【支出の部】

(単位:円)

項目	予算	決算	摘要
事業費	85,000	72,807	
設営費	5,000	1,430	
飲料水等	(5,000)	(1,430)	飲料水・氷等
催事費	50,000	51,377	
お神輿	(40,000)	(42,650)	
イベント	(10,000)	(8,727)	
行事費	30,000	20,000	チャリダー・音響設備
消耗品費	40,000	35,263	ポリ袋・色画用紙・印刷代等
渉外費	20,000	23,410	来客接待等
使用料及び賃貸料	90,000	54,820	ガソリン代・コンテナ代・トラックレンタル代等
予備費	13,000	-	
小計	248,000	186,300	
自治連合会に返金		61,700	
合計	248,000	248,000	

平成28年度 第12回日吉台福祉まつり 決算書

開催日：平成28年9月11日(日)

【収入の部】

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
自治連福祉まつり助成金	176,000	日吉台自治連合会
大津市敬老祝い金	140,000	大津市社会福祉協議会
学区社協より	30,429	日吉台学区社会福祉協議会負担金
サロン・駄菓子屋売上金	20,250	ふれあいサロン売上げ、駄菓子屋売上げ
合 計	366,679	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
敬老のつどい式典費用	70,470	
長寿記念品	24,840	米寿記念品@1,080円×23個
ささえあい券購入	25,000	米寿者に贈呈 @500円×2枚×25名分
来賓接待茶菓子代	3,630	藤屋内匠
式典会場生け花代	15,000	あかね花苑(記念花束代含む)
記念写真代	2,000	
ふれあい活動費	237,422	
招待者会食弁当代	118,550	(株)豆藤 @750円×157食、容器回収代800円
飲み物代	12,441	サンライズ 招待者お茶代他飲み物代
ふれあいサロン	13,954	平和堂、アヤハ、サンライズ(紙食器、喫茶部材等)
「駄菓子屋さん」	11,154	南商店、平和堂他(駄菓子、おもちゃ、文具等仕入れ)
会場装飾・案内	5,994	パッケージプラザ、風の門他(掲示用資材、会場装飾品)
アニメ映画(お菓子含む)	1,080	南商店(子供用お菓子)
ゲーム関係費	9,099	アヤハ(スーパーボウル関係費含む)
お楽しみ券回収	65,150	ABC、いしずみ、サロン、駄菓子屋、バザー
謝 礼	19,000	
出演者お礼	15,000	夕扇会、民謡同好会
車借用、運転のお礼	2,000	弁当等運搬の車両提供、運転謝礼
幼稚園お礼	2,000	まちかどプロジェクト(クッキー)
雑 費	39,787	
事務費(用紙・封筒等)	18,651	(株)カウネット他(案内、プログラム等の各種用紙、封筒代)
印刷費(コピー代)	3,410	日吉台支所(コピー代、印刷代)
印刷消耗品	12,284	ヤマダ電機、JOSHIN(PCインク代等)
行事保険料	3,360	ボランティア行事保険料 120名分
その他	2,082	アヤハ、郵便局(軍手代、郵送料他)
合 計	366,679	

福祉バザー：売上げ50,080円(現金40,380円+お楽しみ券9,700円)から経費(値札、袋等781円)を差し引き、49,299円を大津市社会福祉協議会へ10月7日に寄付しました。

議案第 3 号 平成 29 年度日吉台学区自治連合会役員等の選任案

日吉台学区 自治連合会役員

役 職 名	氏 名	住 所	自治会		担 当
会 長	野々口 義信		四東	自治連担当役員	文化祭
副 会 長	宮前 文美		三東	自治連担当役員	学区運動会
	浅田 一夫		二北	自治連担当役員	夏まつり
	藤原 利子		一南	自治連担当役員	福祉まつり
事 務 局 長	加藤 速雄		一北	自治連担当役員	
会 計	秋本 重夫		四西	自治連担当役員	
理 事	事務局次長	朝子 敬三		二南	自治連担当役員
		西 治彦		一北	役員会推薦
	環境衛生委員	北村美砂江		三西	自治連担当役員
	書 記・広 報	北海 彰		一南	自治会長
		細川 俊行		二南	自治会長
		畑中 優廣		二北	自治会長
		片岡 弘		三東	自治会長
		市川 泰伸		四東	自治会長
		西村 精一		四西	自治会長
	監 事	川口 厚美		一北	自治会長
杉山 孝三			三西	自治会長	

コミュニティ基金管理委員会

役 職 名	氏 名	住 所	自治会	備 考
委 員 長	近原 秀明		二南	自治連合会役員会推薦

議案第 4 号 平成 29 年度日吉台学区自治連合会活動方針案

平成 28 年度学区自治連活動方針に掲げた日吉台のまちづくりの目標「子供たちの歓声があふれ和やかに 健やかに 住み続けたいまち 日吉台」を 29 年度も継続、活動を推進してまいります。日吉台の人口は平成元年（1989 年）の 5,473 人をピークに減少を続けています。平成 29 年 3 月 1 日現在の人口は 3,766 人、昨年同期と比べても人口で 33 人減り、世帯数では横ばい傾向はみられますが減少傾向は変わりません。特筆すべきは、市内で 2 番目の高齢化社会の日吉台、高齢化はさらに進み、なかなか歯止めがかかりません。平成 28 年 9 月 30 日現在、65 歳以上の高齢者は 1,710 人、高齢化率は 44.9%、高齢化率は 1.8 歳進行しました。昨年度は、日吉台幼稚園を転換し認定こども園を新設させる計画や、市の市立小中学校規模適正化ビジョンで日吉台小の将来のあり方についての検討が始まるなど、日吉台の教育環境についてさまざまな問題提起がなされました。

また、江若バスの最終便の減便、増加する空き家など日吉台を取り巻くまちづくりの環境も年々厳しくなっています。大津市は、公民館の指定管理者制度の検討や支所業務の統廃合など、市民センター機能のあり方についても検討を始めています。また、地域の自治組織の見直しについても構想案を示し、地元で議論を求めています。背景として自治会加盟住民の加入率の低下、自治会役員の成り手がいないなど末端の地方自治行政に支障がでていることを理由に挙げています。日吉台でも、各丁自治会の組長、役員選出が難航するなど組織づくりにも影響が出始めています。市は 29 年度に、自治機能の抜本的な改革案を住民に提示してくる可能性が高まっています。学区自治連としてもこれら市の動向を見据えながら将来の自治会の姿、今後のあり方についての議論が必要となってくるでしょう。

これらの課題解決と、目標とするまちづくりの実現のため、25 年度に設立された「まちづくり協議会」の活動をさらに充実、活発化させ、各丁の自治会、各種団体、また会員の皆様のご意見を聞きながら今後の自治会活動を推進したいと考えます。

1. 住民相互のコミュニケーションと親睦を深める行事の開催
 - 1) 日吉台夏まつり：日吉台学区の高齢化はさらに進み、まつりの担い手も高齢化、運営等にも支障が出始めています。しかし、夏まつりは日吉台の夏の風物詩として定着し、住民同士の数少ないふれあいの場でもあります。担い手の負担が少ないまつり運営の方策を検討しながら地域の伝統行事の継続を図りたいと考えます。
 - 2) 日吉台学区民大運動会：日吉台学区体育振興会を主体として、各自治会及び会員の協力のもと、隣近所の繋がりや絆を深め協力し合い、元気あふれる力で多くの人々が参加して楽しめる行事として実施いたします。
 - 3) 福祉まつり：社会福祉協議会の主体のもと、高齢者が孤独にならず地域住民との親睦を深め、安全・安心の住みよい街づくりの行事として実施いたします。
 - 4) 文化祭：文化祭実行委員会のもと、日頃の文化活動の発表の場として、展示・発表・フリーマーケット等を行い、地域文化の発展と親睦を深める行事として実施いたします。
 - 5) 市民体育大会：大津市実施の市民体育大会において、住民各年代層がスポーツに参加することで、親睦と友情を深め一致団結して頑張ります。
2. 各自治会での自主防災組織の活動強化と防災意識の向上

学内安全・安心なまちづくりのため学区自主防災会と連絡を密にし、防災講習会・防災訓練等の開催を支援いたします。

3. 自主防犯推進会による自主防犯意識の向上

高齢者や子どもなど弱者に対する犯罪が多発している中、少年補導委員や地域安全リーダーとも連携し、また、27 年度、28 年度に整備された 6 基の防犯カメラなども活用して、安全で安心して暮らせる日吉台のまちづくりをめざします。

4. 学区要望について

昨年度の学区全体にわたる要望ならびに自治会要望を確認し、本年度も各自治会のご意見・ご要望をお聞きし、関係行政に対する要望書の提出など適切に対処いたします。

5. 住民の自治会加入促進と退会防止について

平成 29 年 2 月現在の総世帯数は 1,670 戸で、うち自治会加入世帯は 1,155 戸(加入率 69.2%)と自治会加入率は 70%を切りました。高齢化が一層進む日吉台では、自助、共助そして近助が不可欠です。お互いが支え合う相互扶助を進めるためには学区民全員が自治会員になっていただくのが望ましいと考えます。自治連合会や各丁自治会の努力だけでは難しく、是非とも会員皆様のご協力をお願いいたします。

日吉台学区自治連合会 平成 29 年度事業計画 (案)

1. 会議予定

定例役員会を毎月第 3 土曜日、午後 7 時から開催予定

2. 行事予定

琵琶湖市民清掃	(6 月 25 日(日)、予備日 7 月 9 日(日))	環境衛生部
夏まつり	(7 月 29 日(土) 予定)	夏まつり実行委員会
福祉まつり	(9 月 10 日(日) 予定)	主管：社会福祉協議会
学区民大運動会	(10 月 8 日(日) 予定)	運動会実行委員会
文化祭	(10 月 27, 28, 29 日 予定)	文化祭実行委員会
防災訓練	(11 月 12 日(日) 予定)	主管：学区自主防災会

* 実施にあたり、実行委員会および関係団体と協議の上決定いたします。

諸事情によって日程が変更になる場合があります。

3. 特別委員会

1) まちづくり協議会の継続

学区の人口減少対策問題を中心に、日吉台の未来像を考えます。現在は 5 つの事業部を運営しております

- ① 子育て応援隊事業部
- ② 日吉台新聞事業部
- ③ 日吉台マルシェ事業部
- ④ 空き家対策事業部
- ⑤ 緑のまち並み事業部

他にも江若バス利用促進キャンペーン事業を進めており、今後は幼稚園の認定こども園化と小学校のコミュニティスクール化への対応を検討する予定です。

2) 各種団体長連絡協議会・検討委員会の継続

学区内諸団体の活動における問題や課題などを協議し、その対応策を提案します。

3) 教育問題を考える会（仮称）

日吉台幼稚園を転換し認定こども園の新設案が実現の見通しとなり、こども園設置に伴うさまざまな課題を検討、開設する事業法人に対し、学区民の声を反映する園づくりを求めます。また、日吉台小の規模適正化議論では、将来、統合へと進ませない学校のあり方、めざしたい学校運営などについて検討、議論も行います。

4) 空き家対策検討委員会

平成 28 年度に市が空き家対策のモデル地区に指定、空き家の実態調査、元の所有者の意識調査を実施。29 年度はこの調査結果をもとに、対策の具体化を検討します。

4. 自治連合会ホームページ運営

平成 26 年 4 月よりホームページを立ち上げ、日吉台内外に情報を発信していますが、引き続き日吉台の魅力を全国発信する広報活動を行います。

5. コミュニティ基金管理委員会

基金設立後 31 年を経過していることから、当基金の沿革、意義を踏まえ、現在および将来の視点に立ってそのあり方・基金運用等について引き続き検討します。なお、この取り組みは自治連合会とも連動して行います。

議案第 5 号 平成 28 年度日吉台学区自治連合会予算案

[収入の部]

(単位:円)

項目	28年度予算	28年度決算	29年度予算	備考	
前年度繰越金	766,418	766,418	744,817		
各自治会からの分担金	2,294,000	2,286,000	2,310,000	2,000円/世帯×1,155世帯	
大津市報奨金	131,760	131,760	131,760		
助成金	琵琶湖を美しくする運動実践本部助成金	65,000	17,547	30,000	琵琶湖を美しくする運動
	大津市防犯協会助成金	30,000	30,000	30,000	子ども110番のおうち電灯料
	防犯カメラ設置助成金	—	153,000	—	コミュニティ基金助成金(3基分)
—		—	153,000	大津市助成金(3基分)	
雑収入	6,000	6,315	6,000	日赤社資、預金利息他	
合計	3,293,178	3,391,040	3,405,577		

(1,147世帯で算定) (1,143世帯で確定)

[支出の部]

(単位:円)

項目	28年度予算	28年度決算	29年度予算	備考	
事業費	環境衛生部	70,000	27,163	40,000	一斉清掃2回予定
	まちづくり協議会	65,000	43,280	60,000	日吉台新聞発行費含む
	自治連ホームページ運営	20,000	18,588	20,000	サーバー使用料
	夏まつり	248,000	186,300	248,000	前年度同額
	市民体育大会	90,000	80,446	90,000	同上
	福祉まつり	176,000	176,000	176,000	同上
	学区民大運動会	192,000	170,884	192,000	同上
	文化祭	64,000	63,901	64,000	同上
	防犯カメラ設置費	—	306,309	—	
事業費小計	925,000	1,072,871	890,000		
各種団体助成費等	1,201,733	1,183,018	1,210,045	各種団体助成金明細参照	
	30,000	30,000	30,000	子ども110番のおうち電灯料	
事務経費等	渉外費	150,000	222,119	180,000	各種加入団体会費 研修会費等
	事務費	85,000	79,311	85,000	印刷、インク、用紙
	会議費	10,000	0	10,000	
	旅費・交通費	60,000	49,960	50,000	会議、研修出席の交通費
	功労者表彰費	40,000	0	20,000	29年度分(7名)
	雑費	15,000	8,944	20,000	防犯カメラ6基分電気代等
事務経費等小計	360,000	360,334	365,000		
支出合計	2,516,733	2,646,223	2,495,045		
予備費	776,445		910,532		
次年度繰越金		744,817			
総合計	3,293,178	3,391,040	3,405,577		

[各種団体助成金]

(単位:円)

団体名	28年度予算	28年度決算	29年度予算	備考(助成金決定根拠)
体育振興会	263,810	263,810	265,650	230円/世帯 1155世帯で算定
消防分団	275,280	275,280	277,200	240円/世帯 同上
社会福祉協議会	114,700	114,700	115,500	100円/世帯 同上
青少年育成学区民会議	75,702	75,702	76,230	66円/世帯 同上
日吉台学区自主防災会	75,702	75,702	76,230	66円/世帯 同上
子ども会連絡協議会	240,870	240,870	242,550	210円/世帯 同上
老人クラブ連合会	40,145	40,145	40,425	35円/世帯 同上
日吉台自主防犯推進會	59,644	59,644	60,060	52円/世帯 同上
少年輔導員 子ども安全リーダー	22,940	22,940	23,100	20円/世帯 同上
人権・生涯学習推進協議会	22,940	4,225	23,100	20円/世帯 同上
日吉台健康推進連絡協議会	10,000	10,000	10,000	定額
合 計	1,201,733	1,183,018	1,210,045	

平成29年度自治連合会への分担金ならびに募金・寄付金の納付

[分担金]

- ・会員一世帯当たりの分担金は、2,000円/年です。
- ・各自治会の分担金は、4月1日現在の会員世帯数に基づき算出します。
- ・分担金は、1年分または半期分をまとめて、自治連合会へ納付していただきます。

納付月	区 分
5月	1年分まとめて納付する場合
5月・9月	半期分まとめて納付する場合

[募金・寄付金]

- ・募金・寄付金は各自治会、各家庭の自主性に基づきます。
- ・協賛していただく場合の一世帯当たりの目安金額は、下表の通りです。
- ・自治連合会は、集まった募金・寄付金をまとめて各団体に一括して納付します。
- ・募金・寄付金の自治連合会への納付は、分担金と併せて納付していただきます。
- ・分担金を半期ごとに納付する場合、募金・寄付金の納付月は下記の表によります。

納付月	項 目	募金団体名	金 額(円)
5月	日吉大社賛助金 (山王祭、司祭費)	山王祭実行委員会	500
	緑の募金	(財)滋賀県緑化推進会 大津支部長 越市長	30
	日赤社資	日本赤十字社 大津市地区長 越市長	130
9月	赤い羽根共同募金	社会福祉法人 滋賀県共同募金会大津支会	380
	歳末助け合い募金	社会福祉法人 大津市社会福祉協議会	100

議案第 6 号 日吉台コミュニティ基金管理委員会関係議案

- 1 平成 28 年度日吉台コミュニティ基金事業報告
- 2 平成 28 年度日吉台コミュニティ基金決算書
- 3 財産目録
- 4 監 査 書
- 5 平成 29 年度日吉台コミュニティ基金管理委員会委員名簿
- 6 平成 29 年度日吉台コミュニティ基金事業計画
- 7 平成 29 年度日吉台コミュニティ基金予算書

1 平成 28 年度日吉台コミュニティ基金事業報告

(1) 動産の管理

基金に属する動産の管理の現況は、3 財産目録記載のとおりである。

(2) 基金の活用

地域の安全・安心の観点より防犯カメラ 3 台の追加設置が必要であり必要資金 306,309 円の内、市からの補助を半額、基金資金を半額使いたいとの申し出が自治連合会会長より平成 28 年 12 月 1 日付けで出された。平成 28 年 12 月 21 日にコミュニティ基金管理委員会会議を開催して討議の結果、委員全員 10 名の賛成を得て、基金より 153,000 円を支出することを決定した。

(3) 広報活動

基金とはどのようなものか、誕生の歴史とこれまでの活用状況、今後の展望を自治会員に知って貰う目的で、「日吉台新聞」9 月号にて紹介した。これは平成 28 年 6 月 13 日に開催のコミュニティ基金管理委員会会議で委員から出された「広報活動を積極的に行うべし」の提案を実行したものである。

(4) 会議等

平成 28 年 6 月 13 日：①基金の活用に関する委員間自由討議 ②規約改正に関する討議 ③AED 購入に関する討議

平成 28 年 12 月 21 日：防犯カメラ 3 台追加設置半額を基金から支出に関する討議

平成 29 年 3 月 13 日：年度末日吉台コミュニティ基金管理委員会会議（平成 28 年度活動実績、決算、平成 29 年度活動案、予算案について協議）

(5) 監査

平成 29 年 3 月 30 日 日吉台学区自治連合会監事による監査

2 平成 28 年度日吉台コミュニティ基金決算書

(1) 資産の部

項 目	期首 H28. 4. 1 現在	本年度分利息等	摘 要
1. 普通預金	1,762,215	62	
2. 定期預金	23,201,953	13,464	
3. 国債	10,000,000	71,983	償還期限を迎え定期預金へ
4. その他収入	0	0	
計	34,964,168	85,509	

(2) 支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	差 額	摘 要
1 事務費	5,000	1,120	△3,880	コピー代
2 財産管理費	10,000	432	△9,568	振込手数料
3 助成事業費	0	0	0	
4 関連事業費	10,000	153,000	143,000	継続事業防犯カメラ
5 予備費	50,000	0	△50,000	
計	75,000	154,552	79,552	

(3) 期末（繰越金） 34,895,125 円(期首+利息等-支出計)

3 財産目録

(1) 動産の部

普通預金（滋賀銀行）	1,679,603 円
（関西アーバン銀行）	105 円
定期預金（滋賀銀行）自動継続 1 年利率 0.010%	23,204,755 円
（関西アーバン銀行）自動継続 利率 0.01%	10,010,662 円
基金期首残高	34,964,168 円
基金期末残高	34,895,125 円
基金期首残高期末残高差額	△69,043 円

4 監 査 書

平成 28 年度における日吉台コミュニティ基金管理委員会の業務執行の状況について監査を行った結果は、次のとおりである。

(1) 業務執行の状況

平成 28 年度中の日吉台コミュニティ基金管理委員会の業務執行は、委員長の報告の聴取、委員会議事録等関係書類の点検等により精査の結果、適正に執行されているものと認めた。

(2) 会計の状況

平成 28 年度中の日吉台コミュニティ基金管理委員会の会計は、決算書及び会計帳票、預金通帳等を精査の結果、適正に処理されているものと認めた。

(3) 資産管理の状況

平成 28 年度中の日吉台コミュニティ基金管理委員会の資産管理は、委員長の報告の聴取、~~権利書及び契約書等~~重要書類の点検等により精査の結果、適正に管理されているものと認めた。

(4) 財産目録の確認

日吉台コミュニティ基金管理委員会の作成した平成 28 年度末における財産目録は、上記諸項目を踏まえ、適正に作成されていると認めた。

以上

平成 29 年 3 月 30 日

地縁団体日吉台学区自治連合会監事

近原 泰伸 印
近藤 佳嗣 印

5 平成 29 年度日吉台コミュニティ基金管理委員会委員名簿

役 職	選出母体	氏 名	住 所	任期終了日
委員 長	自治連合会	近 原 秀 明		H.31. 3.31
副委員 長	自治連合会	西 治 彦		自治連任期
会 計	一丁目南	山 田 宗 良		H.31. 3.31
副委員 長	一丁目北	呉 屋 之 保		H.30. 3.31
書記	二丁目南	角 田 豊		H.32. 3.31
委員	二丁目北	吉 田 正 勝		H.30. 3.31
同上	三丁目東	藤 井 義 久		H.30. 3.31
同上	三丁目西	仲 西 信 男		H.32. 3.31
同上	四丁目東	山 下 晴 弘		H.30. 3.31
同上	四丁目西	西 村 精 一		H.32. 3.31

6 平成 29 年度日吉台コミュニティ基金事業計画

当基金の今年度の事業の内容は、次の通りとする。

(1) 動産の管理

適正な管理を継続するとともに、①危険分散の観点から、他の金融機関への動産分割を図る。
②金利が低いため利息も少なく助成の為の予算は組まず、動産活用の必要が生じた場合は協議して自治連合会に答申する。

(2) 規約改正提案

平成 27 年度に基金保有の不動産 3 筆を大津市に無償譲渡したこと、又これまでに未改正であった事項を含めての規約改正を平成 28 年度のコミュニティ基金管理委員会で討議してきたので、基金規約改正を平成 29 年度総会にて提案する。

(3) 基金の活用法、在り方等検討

平成 28 年度に委員間で意見を交わした。その上で更に各丁の意見集約を図る段階で自治連合会と調整中の状態である。今年度は更に深く検討を行う。なお、この取り組みは自治連合会と協議の上慎重に行う。

7 平成 29 年度日吉台コミュニティ基金予算書

(1) 資産の部

(単位：円)

項 目	期首予算額	予測利息等	摘 要
1 普通預金	1,679,708	13	利率 0.001%
2 定期預金	33,215,417	2,600	利率 0.01%
3 その他収入	0	0	関電電柱敷地は、大津市に譲渡
計	34,895,125	2,613	

(2) 支出の部

項 目	前期決算額	予 算	差 額	摘 要
1 事務費	1,120	5,000	3,880	
2 財産管理費	432	10,000	9,568	
3 助成事業費	0	0	0	
4 関連事業費	153,000	10,000	△143,000	
5 予備費	0	50,000	50,000	
計	154,552	75,000	△79,552	

日吉台コミュニティ基金規約 (改正案)

(制定 昭和 61 年 4 月 6 日)

(改正 平成 2 年 4 月 1 日、平成 12 年 4 月 16 日)

平成 29 年 4 月 16 日

第 1 章 総 則

(基金の設置)

第 1 条 大津市日吉台学区民の共有の財産により、大津市日吉台学区自治連合会（以下「自治連合会」という。）に基金を設置する。

(基金の名称)

第 2 条 この基金は、「日吉台コミュニティ基金」（以下「基金」という。）と称する。

(基金の目的)

第 3 条 基金は、大津市日吉台学区民の共有の財産を適切に管理運用するとともに、地域の福祉及びコミュニティ活動の増進を図ることを目的とする。

(基金に属する財産)

第 4 条 ~~基金に属する不動産は、次のとおりとする。~~

- ~~(1) 大津市日吉台一丁目 14 番 6 号 宅地 1,962.75m²~~
- ~~(2) 大津市日吉台一丁目 9 番 3 号 宅地 605.07m²~~
- ~~(3) 大津市日吉台一丁目 9 番 10 号 宅地 59.95m²~~

2 基金に属する動産は、次のとおりとする。

- (1) 日吉台共用施設維持管理基金残金及びその果実
- ~~(2) 日吉台集会所建設基金残金及びその果実~~
- ~~(3) (2) 基金に属する財産の運用収益による積立金~~

(基金の事業)

第 5 条 基金は、第 3 条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 基金に属する財産の管理および運用
- (2) コミュニティ施設への助成
- (3) まちづくり事業への助成
- (4) コミュニティ活動への助成
- (5) その他基金の目的を達成するため必要な関連事業

第 2 章 管理委員会

(管理委員会の設置)

第 6 条 基金を管理し、基金の事業を実施するため、自治連合会の特別委員会として、「日吉台コミュニティ基金管理委員会」（以下「管理委員会」という。）を設置する。管理委員会の事務所を大津市日吉台一丁目 1 5 番 1 号に置く。

（委員）

第 7 条 管理委員会の委員は、次の各号に掲げる者とする。

- | | |
|---------------------------------------|--------------|
| (1) 自治連合会が所属自治会の推薦を経て委嘱した者 | 1 名 |
| (2) 自治連合会副会長のうち自治連合会が指名した者 | 1 名 |
| (3) 自治連合会に属する自治会が選出した者 | 1 自治会につき 1 名 |

（任期）

第 8 条 前条第 1 号および第 3 号の委員の任期は 3 年とする。ただし再任を妨げない。第 3 号の委員の任期を 1 年又は 2 年に短縮することは、管理委員会の決議により行うことが出来る。

- 2 前条第 3 号の委員に欠員が生じたときは、当該委員の属する自治会は、すみやかに補欠の委員を選出しなければならない。
- 3 前項の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（役員）

第 9 条 管理委員会に次の役員を置く。

- | | |
|----------|-----|
| (1) 委員長 | |
| (2) 副委員長 | 2 名 |
| (3) 書記 | 1 名 |
| (4) 会計 | 1 名 |

- 2 前項の役員のうち委員長は第 7 条第 1 号の委員をもってあて、副委員長のうち 1 名は同条第 2 号の委員をもってあて、その他の役員は同条第 3 号の委員より互選により定める。

（役員の仕事と責任）

第 9 条の 2 委員長は、委員会を代表し、基金に属する財産の権利関係を証する書類その他の重要書類を管理し、自治連合会の会議に出席して意見を述べる。

- 2 副委員長は、委員長に事故あるときこれを代理する。
- 3 書記は、会議録その他委員会の活動に関する記録を整備し、委員会の庶務に携わる。
- 4 会計は、基金に属する現金の預託および出納、予算および決算の作成管理に携わる。

（顧問）

第 10 条 管理委員会が必要と認めるときは、顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、学識経験を有する者のうちから、委員長が委嘱する。

（会議）

第 11 条 管理委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 管理委員会の議事は、委員の過半数により決するものとし、可否同数のときは委員長が決定する。

(自治連合会の承認)

第 12 条 管理委員会は、次の各号に掲げる事項については、自治連合会の総会に付議し議決を得なければならない。

- (1) 規約の改正
- (2) 長期事業計画
- (3) 年間事業計画および事業報告
- (4) 年間予算および決算報告

- 2 この規約に基づく管理委員会の決定のうち重要な事項は、自治連合会の役員会の承認を得るものとする。

第 3 章 財産の管理および運用

~~—(不動産の管理)—~~

~~第 13 条 基金に属する不動産は、学区民に有益かつ長期的な活用を図るものとする。~~

~~—(不動産の管理)—~~

~~第 14 条 基金に属する不動産は、不法占用その他の不法行為を防止するとともに、近隣住民等に危険、迷惑が生じないよう適正な管理に努めるものとする。~~

~~—(不動産の利用)—~~

~~第 15 条 基金に属する不動産は、用途及び目的が妥当であり、かつ基金設置の目的に適合すると認められるときは、適正な対価を徴して利用を認めることができる。~~

~~第 16 条 第 13 条及び前条の場合は自治連合会及び関係自治会の承認を得るとともに、近隣住民と十分協議するものとする。~~

(現金の管理及び運用)

第 17 条 13 条 基金に属する現金は、金融機関への預金、有価証券その他確実かつ有利な方法で管理運用するものとする。

(収益の取り扱い)

第 ~~18~~ 14 条 基金に属する財産より生じた収益は、予算の定めるところにより、基金の事業の原資とし、または基金として積み立てるものとする。

~~—(管理名義)—~~

~~第 19 条 基金に属する不動産及び現金は、当分の間、自治連合会の会長名義または役員の名義により管理するものとする。~~

~~2 前項の規定は、法人格のある基金の管理主体が設立されるまでの間の暫定的取り扱いとして定めたものであり、いやしくも、管理名義人に個人的責任が生じるものと解釈してはならない。~~

第 4 章 助成事業等

(助成事業の原則)

第 20 条 ~~15 条~~ 第 5 条第 2 号、第 3 号及び第 4 号の事業（以下「助成事業」という。）の実施に当たっては、基金設置の目的に照らし、適切な助成の対象を選定するものとする。

2 助成事業の実施に当たっては、国・県・市などの公共団体または公共的団体、自治連合会・各自治会等の類似事業との重複を避け、助成事業の効果が有効に発揮されるよう努めるものとする。

3 助成事業の実施に当たっては、アンケートの実施その他の方法により、広く住民の意見を聴取するよう努めるものとする。

(助成事業の実施)

第 21 条 ~~16 条~~ 助成事業は、管理委員会が自治連合会の承認を得て定める基金の長期及び年間事業計画、年間予算に従い、選定した助成対象事業に助成金を交付して行うものとする。

(関連事業)

第 22 条 ~~17 条~~ 第 5 条第 5 号の基金の目的を達成するため必要な関連事業は、基金に関する広報、基金の充実および発展・将来計画等に関する調査、研究活動その他の事業とする。

第 5 章 雑則

(会計年度)

第 23 条 ~~18 条~~ 基金の会計年度は、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

(特別会計)

第 24 条 ~~19 条~~ 基金の会計は、自治連合会の特別会計とする。

(その他)

第 25 条 ~~20 条~~ この規約実施のため必要とする事項は、管理委員会が定める。

第 26 条 当初の第 7 条第 3 号の委員の任期は、第 8 条の規定にかかわらず、管理委員会の決議により、2 名の委員については 3 年、3 名の委員については 2 年、3 名の委員については 1 年とする。

付則

この規約は、昭和 61 年 4 月 6 日から実施する。

この規約は、平成 2 年 4 月 1 日から改正実施する。

この規約は、平成 12 年 4 月 16 日から改正実施する。

この規約は、平成 29 年 4 月 16 日から改正実施する。